

日々の田高（1年生 租税教室）

7月16日（火）の3・4時間目の人間と社会の時間に、雪谷税務署、近隣の税理士さんに協力いただき、租税教室が行われました。

私たちの暮らしと税の関わり、経済活動と税、日本国内だけでなく、他国の状況を踏まえた税の関わりなど、様々な視点から税について捉えました。

税は、豊かな生活のため、健康に生きるため、文化的に暮らせるように、安心して暮らせるように使われることを前提として、みんなのために使うこと、みんなの幸せのために、みんなで出し合うことを確認した上で、公平をキーワードとして、考えます。

クラスを国としてとらえ、国全体として課題を設定し、その課題に取り組むために必要な3000万円の費用を税として集めます。その時、公平に税を集めるにはどうすれば良いのか、ある国の3つの自治体の財政規模により、どのように負担をするのが公平なのか、生徒たちは、議論を進める授業展開でした。

まとめとして、講師の先生からは、社会や世界で起こっている出来事に関心をもってほしいとのお話がありました。

